

# 令和5年度施設経営に係る基本的な考え方（年度計画）

## 1 ビジョン

当法人は、地域の人々のニーズに応じてサービスを提供するにあたって、人間の尊厳と自己実現を理念として、年齢、性別、障害の有無に関係なく、誰もが、暮らしやすく、住みよい地域社会において、継続して通常の生活が自立できるよう支援するとともに、地域福祉の進展に寄与し、地域福祉の拠点組織となることを目指します。

## 2 法人の経営・運営に関する理念

### (1) 理念

わたくしたちの願い

- 一、 わたくしたちは、二十一世紀における地域に根ざした福祉社会の新たな進展と多様な福祉文化の創出に積極的な役割を果たします。
- 一、 わたくしたちは、利用者が住み慣れた地域での生活が続けられるよう、共に支え共に生きる地域福祉のまちづくりに寄与します。
- 一、 わたくしたちは、利用者が尊厳をもって、自分らしく自立した生活が送れるよう、保健、医療と福祉を総合した支援に努めます。
- 一、 わたくしたちは、利用者個人の尊厳が守られるよう、利用者の自己実現と選択を尊重し、利用者本位のサービス提供を目指します。
- 一、 わたくしたちは、地域に開かれた経営とサービスの質の向上に努め、利用者やご家族が満足される価値ある正吉福祉社会を創ります。

### (2) 事業と施設等の目的

- ① 当法人が経営する事業と施設等は、21世紀における地域に根ざした福祉社会の新たな進展に貢献するとともに、多様な福祉文化の創出に寄与することを目指します。
- ② 当法人が経営する事業と施設等は、日常生活圏域における地域住民の多様化する新たな地域ニーズに対応して、必要な地域密着型サービス等の地域ネットワークとバックアップ体制づくりに努め、身近なところで、「だれにでも、必要なとき、必要なサービス」を迅速に、包括的かつ継続的に提供し、地域の人びとが、

安心してその住み慣れた地域で継続して生活ができるよう「共に支え共に生きる」地域福祉のまちづくりの創成に寄与することを目指します。

- ③ 当法人が経営する事業と施設等は、利用者の QOL（Quality of Life 生活の質）と生活機能の維持または向上を目標とし、利用者の自己実現と自由なる選択を尊重して、利用者本位のサービス提供に努め、これにより、利用者が、尊厳を持って、自分らしく、自立した日常の地域生活が送れるよう、利用者を支援することを目指します。
- ④ 当法人が経営する事業と施設等は、地域に広く開かれた経営とサービスの質の継続的改善に努め、職員重視とともに、利用者やご家族そして地域住民が満足される価値あるサービスの創造と提供を目指します。
- ⑤ 当法人が経営する事業と施設等は、21 世紀の新たなニーズの進展に対応して、介護予防等の予防サービスを拡充し、可能なかぎり問題の発生やその深刻化を防ぐ等ウエルビーイング（Well Being 健幸）の先進的展開を目指します。

### 3 理念を具現化するための方策

第 13 期中期経営計画（2021～2023）では、第 12 期中期経営計画と同様に高齢者支援と地域貢献を両軸として機能させることで、多世代が共に生きいきと暮らし続けることができる地域拠点として存続し、多世代・多様な人々のウエルビーイング（Well Being 健幸）を追求していきます。

その第 3 ステージとなる令和 5 年度は、前年度に引き続き、既存施設の更なる地域拠点機能強化と在宅事業部門の業務効率化・事業間連携を更に強化します。また、内部統制管理体制を更に強化します。

#### 法人の経営

##### (1) 施設整備

- ① 令和 6 年度に実施するすぎなみ正吉苑の大規模修繕を計画します。
- ② いなぎ正吉苑の建て替えについて検討します。

##### (2) 内部管理体制の再構築による法人基盤の強化

- ① 法人本部機能を強化し、施設・事業の目標数値等予実管理を行うことで、安定した経営を目指します。
- ② 事業統括機能を活かし、内部統制の体制を更に強化します。

- ③ 人事制度にもとづき、職員のやりがいを支援します。
  - ④ 次期管理職の育成及び現任管理職のチームビルディングや労務管理について育成強化します。
  - ⑤ 新卒採用を強化すること、また他業種からの転職等、多様な人材を採用し、法人の求める人材を育成します。
- (3) 公益事業と地域貢献に積極的に取り組みます。
- (4) 最高の品質追求による「正吉ブランド」を強化します。
- (5) ICT・IOT 活用による業務の効率化及び介護サービスの質が向上しているか検証し、更に活用を進めます。
- (6) 事業継続計画の見直しと訓練を実施します。  
風水害及び新型コロナウイルスの対応策を強化します。
- (7) 健全経営の推進
- ① 法人本部機能を強化し、健全な財務規律の確立と経営の安定を図ります。
  - ② 費用の適正化・効率化を図ります。
- (8) SDG s (Sustainable Development Goals/持続可能な開発目標)の理念にもとづいた活動を推進します。  
平成 13 年度から導入している「IS09001 品質マネジメントシステム」と「IS026000 の国際的なガイダンス」を融合したマネジメントシステムを通じて、持続可能な社会へ貢献します。

## 施設の経営

- (1) 地域拠点機能の強化  
各エリアの施設は、地域包括ケアシステムの推進と地域における公益的な取り組みの推進、災害拠点としての機能強化等、地域福祉の拠点施設としてさらに機能強化していきます。
- (2) 在宅事業部門の業務効率化と事業間連携の強化  
各エリアの拠点施設に併設されている、または単独の在宅事業部門を横断的にマネジメントしていくことで、業務の効率化と事業間連携を強化し、特に訪問系事業

は他の事業との連携により、利用者のADLの維持向上を図り、重度化を防止するとともに、自立を支援します。

(3) 施設・在宅事業の利用者の重度化への対応

各施設・事業部門は、重中度の要介護者のニーズに迅速に対応し、適切なサービスを提供していきます。また、自立支援介護、看取り介護、安全介護を実践します。

(4) 尊厳ある介護と衛生的かつ快適な生活環境の整備

生活者としての自立を支援するとともに、5Sを徹底することで、快適な生活環境を提供します。

(5) 健康長寿をサポートする住まいづくり

多世代交流や在宅支援等の地域拠点としてのサービスを提供するとともに、生きがいや働きがいを支援する住まいづくりを推進していきます。